



2009年8月21日

各位

Medicinova, Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城 裕一
コード番号: 4875 大証ヘラクレス
問合わせ先: 東京事務所代表 副社長
岡島 正恒
電話番号: 03-3519-5010
E-mail: info@medicinova.com

メディシノバとアヴィジェン社との最終的な合併契約締結のお知らせ

2009年8月21日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一) は、当社及びアヴィジェン・インク (Avigen, Inc.) (「アヴィジェン社」) の最終的な合併契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。本契約に従って、当社の合併用 100%子会社とアヴィジェン社が合併することになります。本契約が完了すると、イブジラスト (アヴィジェン社では AV-411 として、当社では MN-166 としてそれぞれ開発中) に関する両社の神経系の臨床開発プログラムを広範に結合させ、さらに発展させることが可能になります。

両社の取締役会で承認された本契約の条項に従い、アヴィジェン社の株主は、(1)現在の推定価格である 1株当たり約 1.24米ドルを現金で受け取るか、(2)メディシノバが発行する転換可能有価証券を受け取るか、を選択することができます。この対価のうち約 1.19米ドルは合併完了時に支払われ、残り約 0.05米ドルは 2010年6月30日に支払われることとなります。本契約で規定されたとおり、合併完了時までにコストが抑えられた場合や合併完了後に払い戻しが発生した場合は 2010年6月30日に発生する2回目の支払が上方修正されることもありますが、合併完了時の負債が現在想定している額を上回った場合は、逆に下方修正されることもあります。

転換可能有価証券は、1株当たり 6.80米ドルにて、毎月の最終営業日にメディシノバの普通株式に転換することができます。この転換価格は本契約の締結日までの 20日間のナスダック株式市場及び大阪証券取引所ヘラクレス市場におけるメディシノバの普通株式の株価の出来高加重平均価格に基づいています。転換可能有価証券は合併完了から 18ヶ月経過した時点で満期を迎え、本証券は、通常の債務不履行条項や希薄化防止に関する条項を含む契約に準拠することとなります。

また、アヴィジェン社の株主には、1個の「臨時の支払いの受領を可能にする権利証」(Contingent Payment Right 「CPR」) が付与されます。この権利の保有者は、一定の事由が発生した場合に比例配分で次のものが付与されます。すなわち、(1)2005年にアヴィジェン社とジェンザイム・コーポレーション (Genzyme Corporation) (「ジェンザイム社」) との間で締結された譲渡契約に基づき、最初のマイル・ストーンをメディシノバが合併完了後 20ヶ月以内に受け取った場合には、現金が 600万米ドル (1株当たり約 0.20米ドル) を上限として支払われ、(2)上記譲渡契約に基づき、パーキンソン・プログラムがメディシノバに戻され、その後再度パーキンソン・プログラムとして売却され、ライセンス導出され、若しくは譲渡された場合には、合併完了後 20ヶ月以内に受け取った利益の 50%が現金で支払われ、また、(3)アヴィジェン社のマネージメン

ト・トランザクション・プランに基づき設定された信託が解約された場合には、当該信託解約後の残金が支払われます。上記いずれの場合でも、アヴィジェン社の株主に対する支払額からは、メディシノバが負うことになる現金支払経費、損害、罰金、違約金又は費用が控除されます。CPRの譲渡は限定的な場合を除いて行うことはできません。

合併完了は、2009年の第4四半期になる予定ですが、アヴィジェン社の株主及びメディシノバの株主双方の承認を得るとともに、そのほかの慣例的な完了条件を満たす必要があります。

アヴィジェン社のファイナンシャルアドバイザーをアール・ビー・シー・キャピタル・マーケット・コーポレーション (RBC Capital Markets Corporation) が、顧問弁護士をクーリー・ゴッドワード・クロニッシュ・エルエルピー (Cooley Godward Kronish LLP) が勤めています。メディシノバのファイナンシャルアドバイザーをラデンバーグ・タールマン・アンド・カンパニー・インク (Ladenburg Thalmann & Co. Inc.) が、ビジネスアドバイザーをユークリディアン・ライフ・サイエンス・アドバイザー (Euclidean Life Science Advisors)、顧問弁護士をデッカー・ト・エルエルピー (Dechert LLP) が勤めています。

以上

メディシノバについて

メディシノバ (MediciNova, Inc.) は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD (慢性閉塞性肺疾患)、多発性硬化症、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁および血栓症など、多様な疾患の治療を目的とする臨床段階の化合物が揃っております。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950 (電話 1-858-373-1500) です。

アヴィジェン社 (Avigen) について

アヴィジェン社は、重篤な神経疾患等を治療するさまざまな医薬品を開発することに注力しているバイオ医薬品企業です。アヴィジェン社の詳細につきましては、<http://www.avigen.com> をご覧下さい。

AV411 について

類似物を含む AV411 のポートフォリオは、疼痛及び薬物依存の治療に対する新規 (ファースト・イン・クラス) の、非オピオイド薬剤です。AV411 は、現在、国立薬物濫用研究所の資金提供を受けたフェーズ 2a 臨床試験を実施中です。FDA の鎮痛部門の治験許可申請 (IND) を受けた疼痛プログラムでは、アヴィジェン社によるフェーズ 1 及びフェーズ 2a 臨床試験が完了し、人での安全性と有効性の確認・検証を行うフェーズ 2 臨床試験が準備中となっています。アヴィジェン社は、ごく最近、健常人のボランティア及び糖尿病の患者を対象とした、複数週にわたるフェーズ 1 臨床試験を完了いたしました。この臨床試験は、高容量投与に対する推奨を支持する根拠となっています。

AV411 は経口投与可能な薬剤で、中枢神経系に浸透する低分子グリアアテニューエーターであり、炎症誘発性のサイトカインインターロイキン(IL)-18、TNFα 及びインターロイキン(IL)-6 を抑制する作用を持つとともに、抗炎症性のサイトカイン、インターロイキン(IL)-10 の産生を促進する可能性があります。また、トール様受容体(TLR4)の刺激による作用を阻害し、全身及び神経の炎症に関連するサイトカインに拮抗する作用があると言われていています。これらの複合作用により、神経炎症が緩和されると考えられています。米国及び欧州では、新規化合物とされていますが、日本ではすでに 20 年前に薬として承認を受けております。100 万人以上の喘息患者に対して処方されており、日本における処方容量では、市販後の安全性も良好です。

米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に基づく
「将来の見通しに関する記述」

このプレスリリースの合併に関する記述には、1995 年米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述は、この「将来の見通しに関する記述」が述べるものと大きく相違する結果となるような、リスク及び不確定要素の影響を受けるものであります。これらのリスクには、当社とアヴィジェン社が、両社が最終的な契約条件の合意に至った場合でも、必要となる双方の株主の承認が得られないなど、合併完了の条件を満たすことができず、合併契約が結べない可能性などが挙げられます。当社に関わるその他のリスク又は不確定要素につきましても、2009 年 8 月 14 日に SEC に提出いたしました、2009 年 6 月 30 日に終了した四半期に係る当社の 10-Q 「リスク・ファクター」の項をご参照ください。アヴィジェン社に関わるその他のリスク又は不確定要素につきましても、2009 年 8 月 10 日に SEC に提出されました、2009 年 6 月 30 日に終了した四半期に係るアヴィジェン社の 10-Q 「当社の事業のリスク」の項をご参照ください。

本文書は、いかなる有価証券の売買の勧誘を行うものではなく、また、投票や承認の勧誘でもありません。また、当社及びアヴィジェン社が、契約について合意に達した場合に SEC に提出するいかなる登録書類、目論見書若しくは株主総招集通知、又は SEC に提出されるか、各株主に送付されるその他の文書の代わりとなるものでもありません。アヴィジェン社の投資家及び株主は、SEC に提出されるかかる書類が入手可能になれば、速やかに、すみずみまで読む必要があります。かかる書類には、合併に関する重要な情報が記載されているからです。

投資家又は有価証券保有者は、当社又はアヴィジェン社の SEC 提出書類のコピーを、SEC が管理する <http://www.sec.gov> から無料で入手することができます。

当社及びアヴィジェン社並びにそれぞれの執行役及び取締役は、本合併に関する委任状勧誘の関係者とみなされます。当社の取締役及び執行役の情報は、2009 年 3 月 31 日に SEC に提出いたしました、2008 年 12 月 31 日に終了した年度の Form 10-K (年次報告書)、又は、2009 年 4 月 29 日に SEC に提出いたしました、2009 年年次株主総会の招集通知でご覧いただくことができます。アヴィジェン社の取締役及び執行役の情報は、2009 年 3 月 16 日に SEC に提出しその後 2009 年 4 月 30 日に改訂を行いました、2008 年 12 月 31 日に終了した年度の Form 10-K 年 (次報告書) でご覧いただくことができます。委任状勧誘の関係者に関するその他の情報及び直接的又は間接的な利益についての情報は、合併に際して提出される招集通知に記載されます。